



## Asian Federation of Biotechnology (AFOB)

大政 健史

### AFOBの設立と組織について

Asian Federation of Biotechnology (AFOB) (アジアバイオテクノロジー連合) は、アジア各国におけるバイオテクノロジー (生物工学) 分野に関するさまざまな交流活動を行うために、2008年10月に大連で開催されたIBS2008において発足した非営利団体です。初代のPresidentには日本生物工学会会長の吉田敏臣大阪大学名誉教授が就任しており、現在の4代目PresidentはProf. Wen-Chien Lee (National Chung Cheng University, 台湾) となっています。

AFOBは、発足してから10年たち、その活動範囲は各国に広がっております。現在、AFOBのVice Presidentは各国から1名就任する形となっており、バングラデシュ、インド、インドネシア、韓国、中国、マレーシア、モンゴル、ネパール、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナムと日本の14か国から14名が就任しております。各国においては、Vice Presidentを筆頭として、Executive Board Member, Advisory Board Memberからなる組織が構成されています。日本は、Vice Presidentに後藤雅宏先生 (九州大学)、Executive Board Memberに五味勝也先生、民谷栄一先生、高木昌宏先生、跡見晴幸先生、神谷典穂先生の5名が、Advisory Board Memberには関実先生、石井正治先生、加藤純一先生、近藤昭彦先生、本多裕之先生、福崎英一郎先生、清水浩先生、竹山春子先生、酒井康行先生と筆者の10名が就任しています。

AFOB本体の運営は、会長の下にSecretary Generalとして、Prof. Tai Hyun Park (Seoul National University)、そして、Deputy Secretary Generalが4名 [Prof. Duk Jae Oh (韓国)、Prof. Penjit Srinophakun (タイ)、Prof. Yinhua Wan (中国) と筆者] で行う体制となっています。

AFOBの本部事務局は、韓国Incheon市に設置されています。これは、AFOBの発足にあたって、Incheon市から組織をサポートするための補助金を受けていることによります。また、近年、いくつかの国には、AFOBの各国支部オフィスが設置されています。

AFOBには、各国のバイオテクノロジーに関連する学会が会員となって参加するInstitutional Memberの制度があります。現在、17組織が会員となっており、日

本生物工学会と交流協定のあるKSBB (韓国)、TSB (タイ)、BEST (台湾) をはじめとして、日本からは日本生物工学会、日本動物細胞工学会、環境バイオテクノロジー学会、日本化学会バイオテクノロジー部会、化学工学会バイオ部会の5組織が会員となっております。AFOBには個人会員制度 (無料) があり、現在の会員数は各国から4,000名以上にのぼっております。

### AFOBの主な活動について

AFOBの活動のうち、もっとも大きなものは2年に1回、開催されるACB (Asian Congress on Biotechnology) です。これは2009年に神戸で開催されたアジア太平洋生物化学工学国際会議 (APBioChE) をうけて、アジア圏のバイオテクノロジーの交流を図る目的で、2011年からACBとして開催されており、2019年7月の台湾での開催で14回目となり、EFB (European Federation of Biotechnology) のカウンターパートナーとしても活動しています。

さらに重要な活動はAFOB発足の母体ともなった、アジア各国の生物工学の若手研究者の集いYABEC (Young Asian Biological Engineers' Community) です。これは韓国、日本、中国、台湾の4地域の生物工学若手研究者 (50歳以下の博士号をもつ研究者) の交流を目指して活動をしているもので、25年以上、毎年200名近くの参加者を集めて、4地域持ち回りで開催しています。

近年では、各国の活動を活性化するため、ARS (Asian Regional Symposium) が、開催されております。2017年はフィリピン、2018年はバングラデシュ、2019年はシンガポールと、生物工学分野での大きな学会を持たない国での生物工学分野の活性化を促進しています。

### AFOBへの会員登録のお誘い

AFOBには、どなたでも入会でき、無料です。アジア圏で4,000人以上の登録者がいますが、日本からは200名程度しか登録者がおりません。日本の生物工学の活動をアジアに発信し、活発に活動するためにも、また、神戸開催予定のIBS2022にむけても、是非AFOBサイト ([http://www.afob.org/join/sign\\_up.html](http://www.afob.org/join/sign_up.html)) からご登録ください。

